

知っておきたい印刷操作

ここでは、詰まった用紙の取り除きかたや印刷濃度の調節、EPカートリッジの交換など、プリンターをお使いになるうえで必ず知っておいていただきたい手順について説明します。

詰まった用紙を取り除く

プリンター内部で紙詰まりが起きると、点検ランプが点灯し、表示部にメッセージが表示されます。

このような場合には、以降で説明する手順にしたがって、詰まった用紙を取り除いてください。

用紙の詰まった場所によって、表示されるメッセージが異なります。

「カミツマリ キュウシブ ヨウシヲ トリダシテクダサイ」

給紙部からEPカートリッジまでの間、または両面印刷ユニット(別売)内部で紙詰まりが起きています。使用している給紙部(給紙カセットまたは前面給紙トレイ)や、プリンター内部(給紙部からEPカートリッジ間、両面印刷ユニット内部)を点検し、詰まった用紙を取り除きます。  P.70

「カミツマリ ソウチナイブ ヨウシヲ トリダシテクダサイ」

給紙部から排紙口までの間で紙詰まりが起きています。プリンター内部(給紙カセットまたは前面給紙トレイから排紙口間)を点検し、詰まった用紙を取り除きます。  P.78

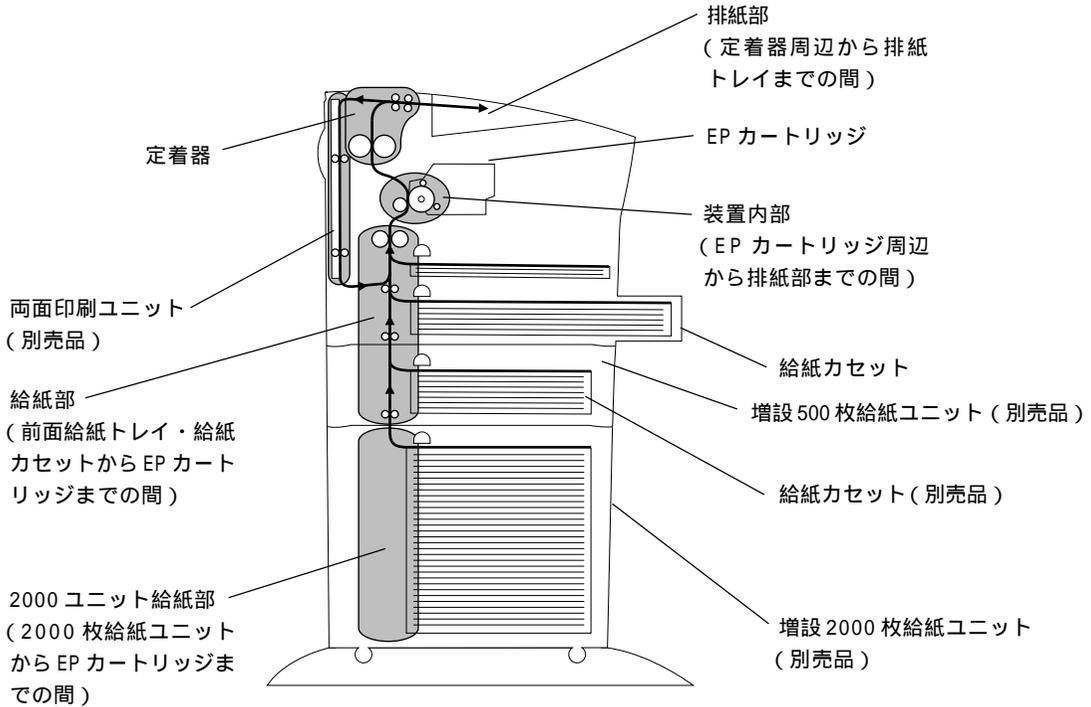
「カミツマリ ハイシブ ヨウシヲ トリダシテクダサイ」

排紙口付近で紙詰まりが起きています。排紙口付近を点検し、詰まった用紙を取り除きます。  P.78

「カミツマリ 2000ユニット ヨウシヲ トリダシテクダサイ」

増設2,000枚給紙ユニット(別売)の給紙部で紙詰まりが起きています。増設2,000枚給紙ユニットを点検し、詰まった用紙を取り除きます。  P.86

紙詰まりの起こる場所



用紙詰まりを防ぐために、次の点に注意してください。

- ・プリンターは水平に設置してください。
- ・適切な用紙を使用してください。特に、プリンターですでに印刷した紙は、紙詰まりや故障の原因となることがありますので使用しないでください。
 「付録A 用紙について」(P.207) を参照してください。
- ・OHPフィルム、ラベル紙、ハガキは、セットする前によくさばいてください。
- ・給紙カセットや前面給紙トレイに用紙をセットする際、正しくセットしてください。

⚠️ 注意

- ・見えない部分や見えにくい部分に詰まった用紙を取り除くときは、無理に取るとけがの原因となります。販売店に連絡してください。
- ・詰まった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようにすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。
 なお、紙片が取り除けない場合及びヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。けがの原因となります。ただちに電源を切り、お買い求めの販売店に連絡してください。
- ・「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺(ヒーター部やその周辺)には、絶対に触れないでください。けがの原因となります。ただちに電源を切り、お買い求めの販売店にご連絡ください。

「カミツ` マリ` キュウシブ` ...」と表示された場合

「カミツマリ` キュウシブ` ヨウシヲ` トリ`
ダシテクダサイ」と表示された場合には、
給紙部からEPカートリッジまでの間で用紙
が詰まっています。次の手順で詰まった用
紙を取り除いてください。

カミツ` マリ` キュウシブ`
ヨウシヲ` トリダ` シテクダ` サイ

⚠️ 注意

- ・紙詰まりの処理をするときは、定着器内のローラーが高温になっているため、やけどのおそれがあります。
定着器内のローラーに触れないよう十分注意して処理してください。
- ・印刷直後は定着器が非常に高温になっていますので手を触れないでください。やけどの原因となります。

MEMO

増設2,000枚給紙ユニットの給紙部で用紙が詰まっている場合は『「カミツ`
マリ` 2000ユニット」と表示された場合』(P.86)を参照してください。

操作の手順

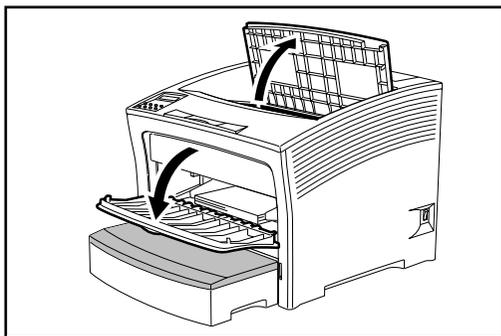
- 1 上面カバーを上後方に開けます。前面給紙トレイが閉じている場合には、前面給紙トレイを手前に開きます。



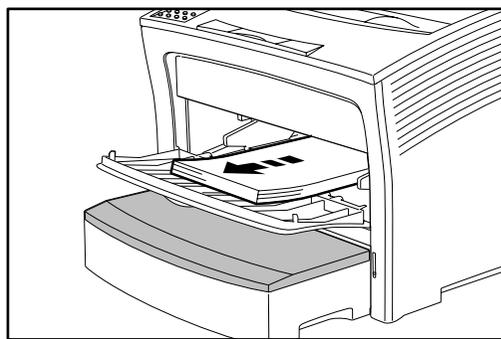
排紙トレイに印刷された用紙がある場合は、上部カバーを開く前に排紙トレイに用紙を載せたまま上部のカバーを開くと、紙詰まりなどの原因となることがあります。

⚠️ 注意

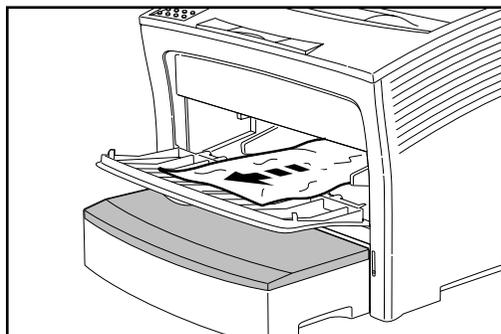
上部カバーを開けるときは、確実に止まるまで開けてください。
また、閉めるときはゆっくりと閉めてください。
プリンター内部のほかの部品には手を触れないでください。



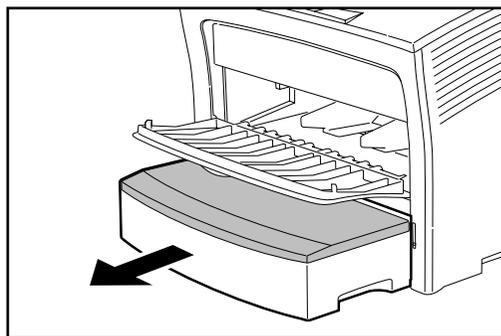
- 2** 前面給紙トレイから用紙を給紙している場合には、前面給紙トレイにセットされている用紙を取り出します。



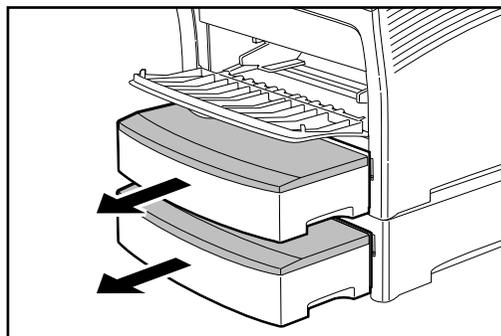
- 3** 前面給紙トレイの奥（用紙の差し込み口付近）を点検し、詰まった用紙があった場合には、取り除きます。



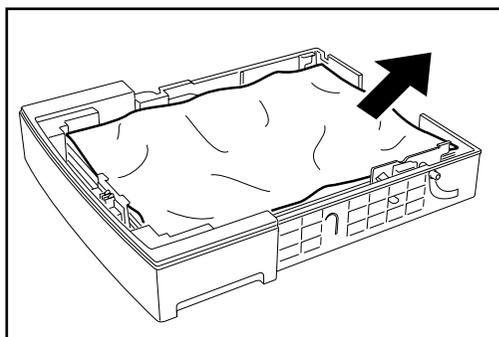
- 4** 給紙カセットから用紙を給紙していた場合には、給紙カセットをプリンターから抜き出します。



別売品の給紙ユニットを使用している場合には、それぞれの給紙カセットを給紙ユニットから抜き出します。



- 5** 給紙カセット内にしわになっている用紙がある場合には、取り除きます。

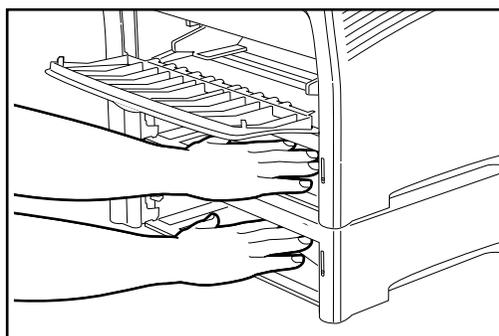
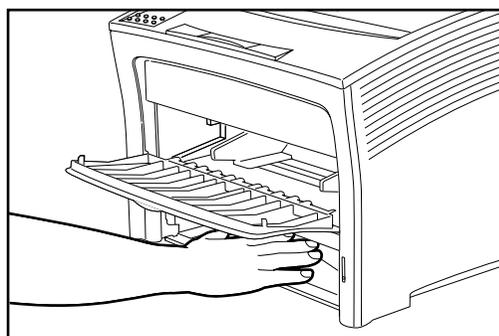


- 6** 給紙ユニットの奥を点検し、詰まった用紙があった場合には取り除きます。

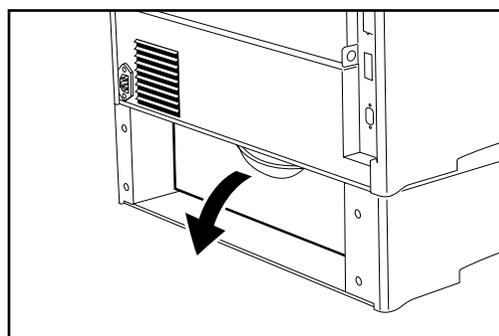


内部の部品を破損させないように注意してください。

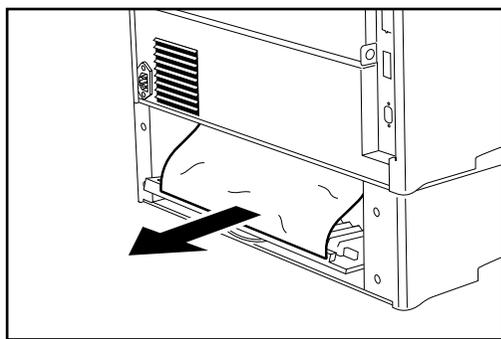
別売品の給紙ユニットを使用している場合は、それぞれの給紙ユニットの奥を点検し、詰まった用紙があれば取り除きます。



別売品の給紙ユニット背面のカバーを開きます。



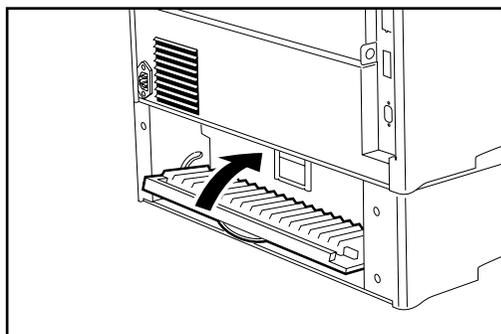
詰まった用紙があれば取り除きます。



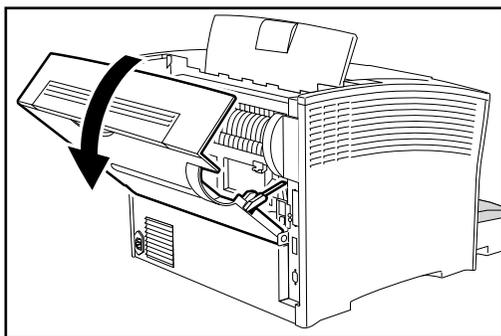
7 背面カバーを閉じます。



背面カバーが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないと印刷不良が発生することがあります。



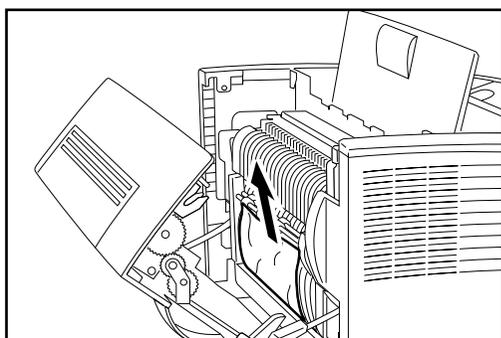
8 排紙部カバーを開きます。



9 詰まっている用紙があれば取り除きます。

⚠️ 注意

印刷直後には、定着器が高温になっています。定着器に触れないように注意してください。

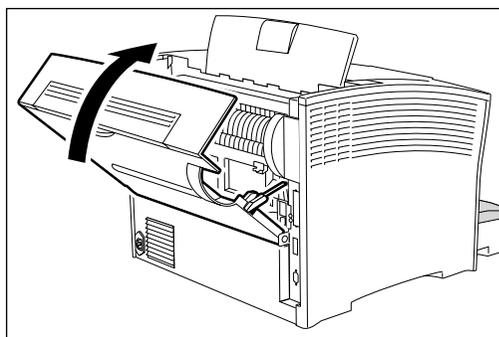


ここまでの手順で詰まった用紙を取り除くことができたときは、手順の17に進み、紙詰まりの処理を終了してください。プリンター内部に用紙が残っている場合や上部カバーを閉じてエラーメッセージが消えない場合は、次の手順に進んでください。

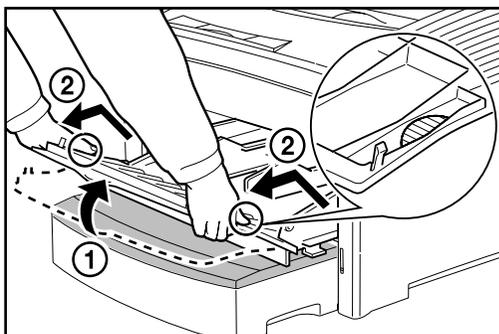
10 排紙部カバーを閉じます。



カバーが確実に閉まっていることを確認してください。



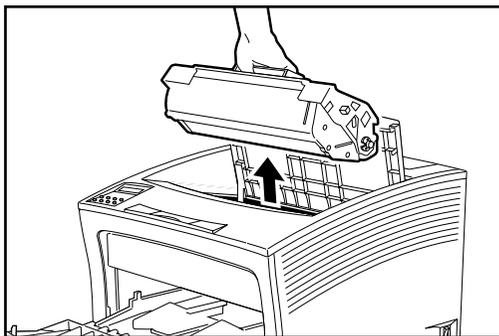
11 前面給紙トレイの左右を持って少し傾けます。さらに、軽く持ち上げ手前に引き出します。



12 EPカートリッジの取っ手を持ち、真上に引き上げます。



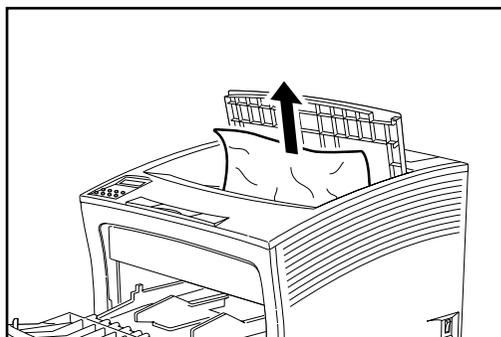
- ・取りはずしたEPカートリッジは、直射日光などの強い光に当てないように、梱包されていた袋に入れるか、厚い布などで包んでください。
- ・EPカートリッジを取りはずすときは途中で止めずに、完全に引き抜いてください。EPカートリッジを途中まで引き出し、再びプリンター内部に挿入すると、ドラム・シャッターが開かず故障の原因となることがあります。



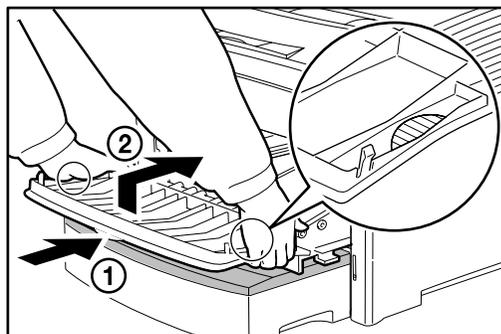
MEMO

トナーで床を汚さないよう、取り出したEPカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などをしいてください。

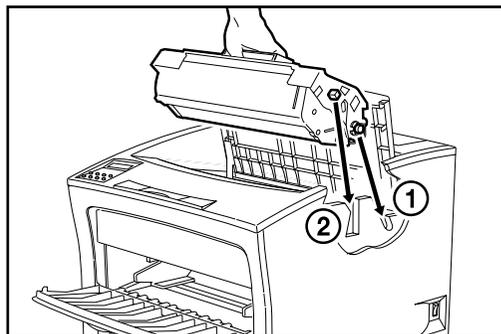
- 13** EPカートリッジを引き出した奥を点検し、詰まった用紙があった場合には取り除きます。



- 14** 前面給紙トレイの左右を持って、突き当たるまで押し込みます。軽く持ち上げさらに押し込み、元の位置に戻します。



- 15** EPカートリッジの取っ手を持ち、①EPカートリッジの両側にある突起をプリンター内部の溝に合わせます。次に②斜めにプリンター内部に挿入します。



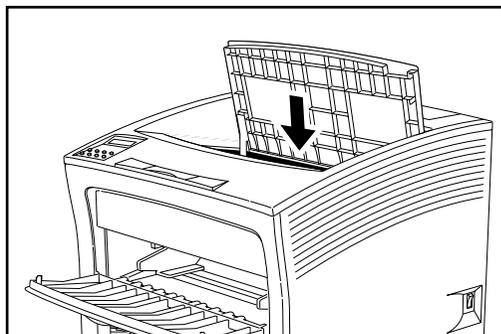
⚠注意

プリンター内部の他の部品には、手を触れないでください。

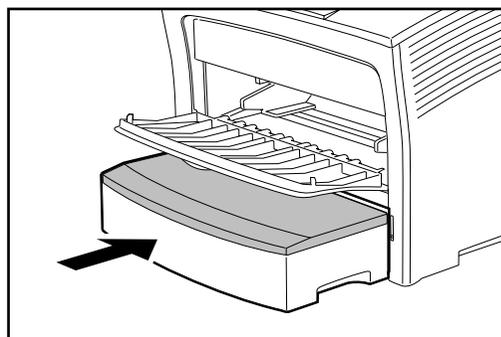
- 16** EPカートリッジを奥まで押し込みます。



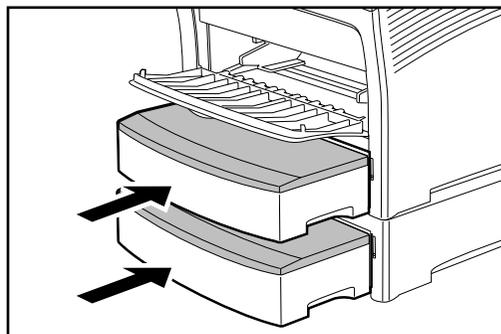
確実にセットされていることを確認してください。



- 17** 給紙カセットをプリンターの奥に突き当たるまで押し込みます。奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。



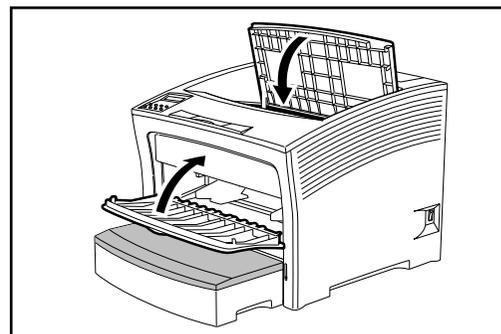
別売品の給紙ユニットを使用している場合には、それぞれの用紙カセットを給紙ユニットにセットします。



- 18** 上部カバーを元に戻します。上部カバーの中央を上から押して、確実にロックします。



上部カバーが確実にロックされていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。上部カバーが閉じないときは、EPカートリッジを一度完全に取り出し、再度奥まで挿入しなおしてから、もう一度閉めなおしてください。



- 19**印刷可能状態となります。
操作パネルの表示部に「インサツ
チュウ」と表示されることを確認
します。



- ・ 前面給紙トレイや用紙カセット内での用紙詰まりの場合でも、上部カバーを一度開けないと、用紙づまりは解除されず、エラーメッセージが消えません。
- ・ 次に印刷された用紙が汚れる場合がありますが、数枚プリントすると汚れはつかなくなります。
- ・ 印刷可能状態にならない場合は、詰まった紙が完全に取り除かれていません。再度、手順1からチェックしてください。

インサツチュウ

C 1

A 4

タテ

「カミヅマリ ソウチナイブ ...」 「カミヅマリ ハイシブ ...」 と表示された場合

「カミヅマリ ソウチナイブ ヨウシヲ トリダシテクダサイ」と表示された場合には、給紙部から排紙口までの間に用紙が詰まっています。

カミヅマリ ソウチナイブ
ヨウシヲ トリダシテクダサイ

「カミヅマリ ハイシブ ヨウシヲ トリダシテクダサイ」と表示された場合には、排紙口付近で用紙が詰まっています。また装置内部にも用紙が詰まっている可能性があります。どちらの場合も、次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

カミヅマリ ハイシブ
ヨウシヲ トリダシテクダサイ

⚠️ 注意

- ・紙詰まりの処理をするときは、定着器内のローラーが高温になっているため、やけどのおそれがあります。定着器内のローラーに触れないよう十分注意して処理してください。
- ・印刷直後は定着器が非常に高温になっていますので手を触れないでください。やけどの原因となります。

操作の手順

- 1 上部カバーを上後方に開けます。前面給紙トレイが閉じている場合には、前面給紙トレイを手前に開きます。



排紙トレイに印刷された用紙がある場合は、上部カバーを開く前に排紙トレイの用紙を取り除いてください。

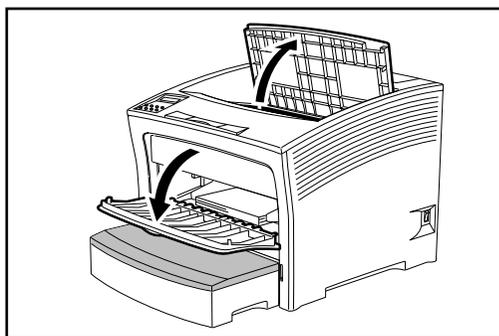
排紙トレイに用紙を載せたまま上部のカバーを開くと、紙詰まりなどの原因となることがあります。

⚠️ 注意

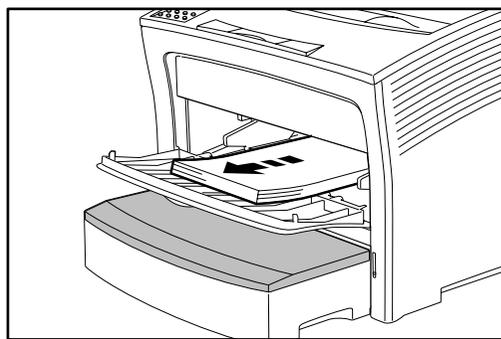
上部カバーを開けるときは、確実に止まるまで開けてください。

また、閉めるときはゆっくりと閉めてください。

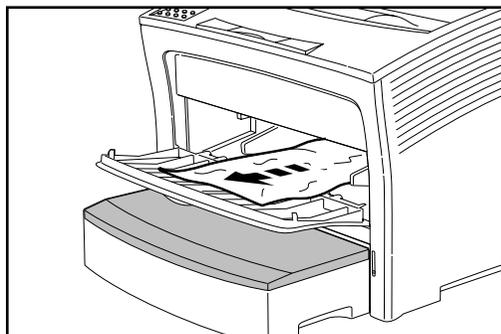
プリンター内部の部品には手を触れないでください。



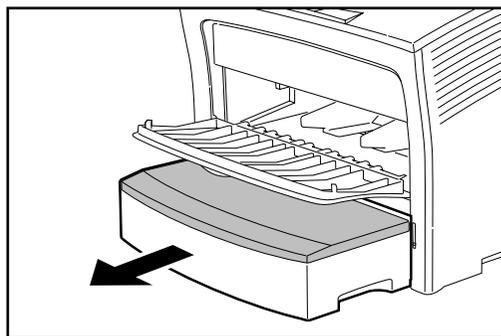
- 2** 前面給紙トレイから用紙を給紙している場合には、前面給紙トレイにセットされている用紙を取り出します。



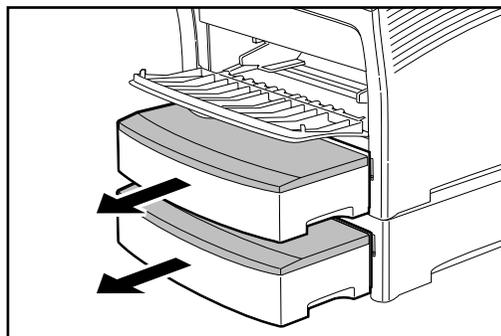
- 3** 前面給紙トレイの奥（用紙の差し込み口付近）を点検し、詰まった用紙があった場合には、取り除きます。



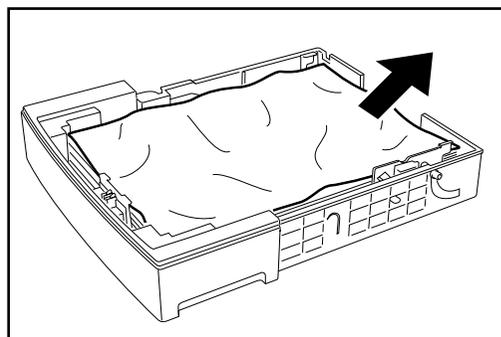
- 4** 給紙カセットから用紙を給紙していた場合には、給紙カセットをプリンターから抜き出します。



別売品の給紙ユニットを使用している場合には、それぞれの給紙カセットを給紙ユニットから抜き出します。



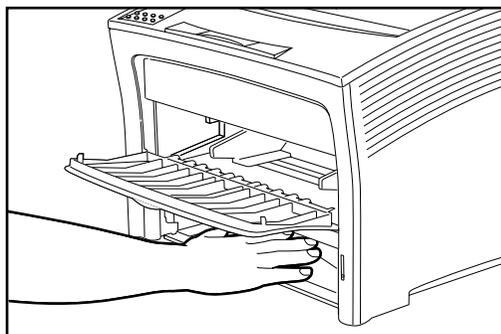
- 5** 給紙カセット内にしわになっている用紙がある場合には、取り除きます。



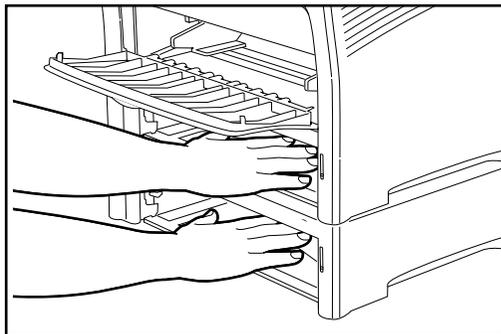
- 6** 給紙ユニットの奥を点検し、詰まった用紙があった場合には取り除きます。



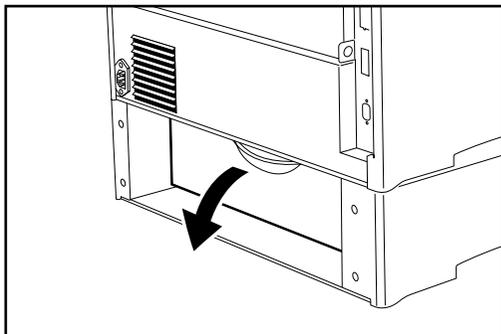
内部の部品を破損させないように注意してください。



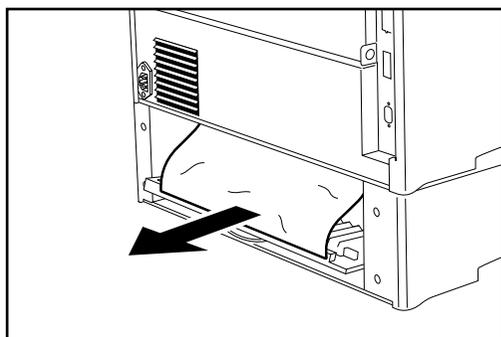
別売品の給紙ユニットを使用している場合は、それぞれの給紙ユニットの奥を点検し、詰まった用紙があれば取り除きます。



別売品の給紙ユニット背面のカバーを開きます。



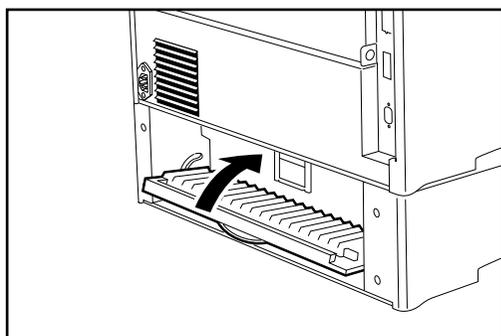
詰まった用紙があれば取り除きます。



7 背面カバーを閉じます。



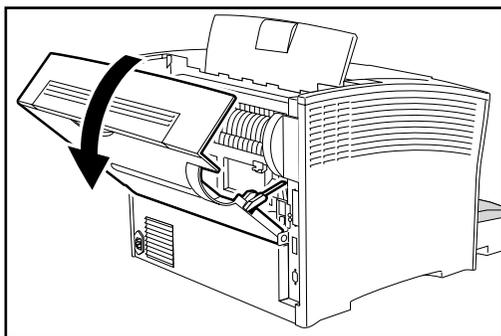
背面カバーが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないと印刷不良が発生することがあります。



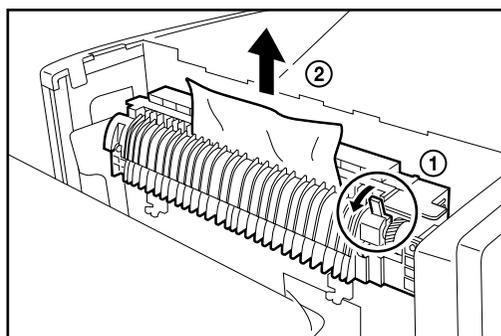
8 排紙部カバーを開きます。

⚠ 注意

- ・排紙カバー内部は非常に高温になっています。ここを開く場合は、十分に冷えている状態で行ってください。
- ・紙詰まりを処理するために定着器に触るときは、必ず電源スイッチを切ってから40分以上たってからにしてください。やけどの危険があります。



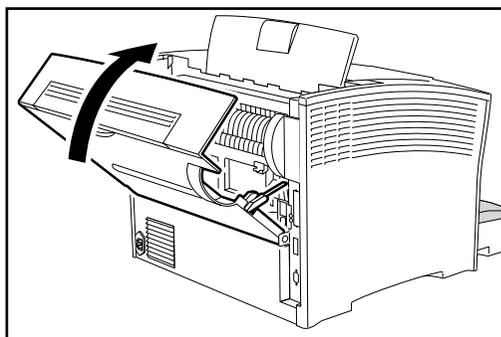
9 定着器のつまみを手前に引き、詰まっている用紙があれば取り除きます。



10 定着器を元に戻し、排紙部カバーを閉じます。

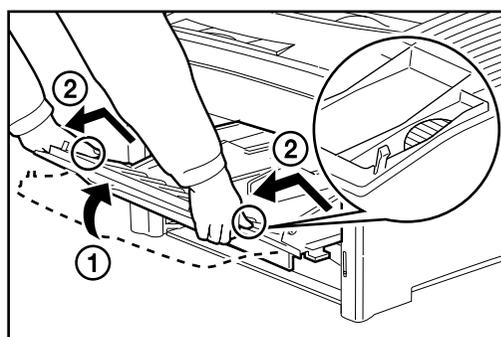


定着器が確実に元に戻っていることを確認してください。完全に戻っていないと、印刷不良の原因となります。



ここまでの手順で詰まった用紙を取り除くことができたときは、手順17に進み紙詰まりの処理を終了してください。まだ機械内部に用紙が残っている場合や上面カバーを閉じてもエラーメッセージが消えない場合は、次の手順に進んでください。

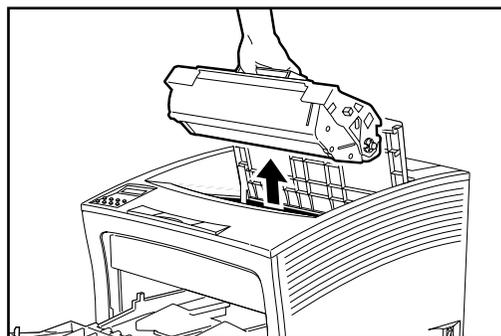
11 前面給紙トレイの左右を持って少し傾けます。さらに、軽く持ち上げ手前に引き出します。



12 EPカートリッジの取っ手を持ち、真上に引き上げます。



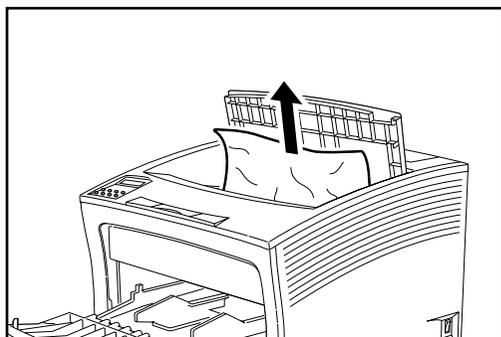
- ・取り外したEPカートリッジは、直射日興などの強い光に当てないように、梱包されていた袋に入れるか、厚い布などで包んでください。
- ・EPカートリッジを取り外すときは途中で止めずに、完全に引き抜いてください。EPカートリッジを途中まで引き出し、再びプリンター内部に挿入すると、ドラム・シャッターが開かず故障の原因となることがあります。



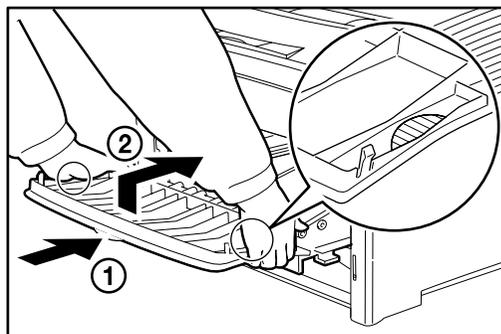
MEMO

トナーで床を汚さないよう、取り出したEPカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などをしいてください。

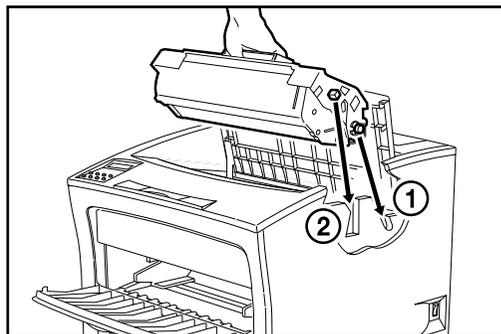
- 13** EPカートリッジを抜き出した奥を点検し、詰まった用紙があった場合には取り除きます。



- 14** 前面給紙トレイの左右を持って、突き当たるまで押し込みます。軽く持ち上げさらに押し込み、元の位置に戻します。



- 15** EPカートリッジの取っ手を持ち、①EPカートリッジの両側にある突起をプリンター内部の溝に合わせます。次に②斜めにプリンター内部に挿入します。



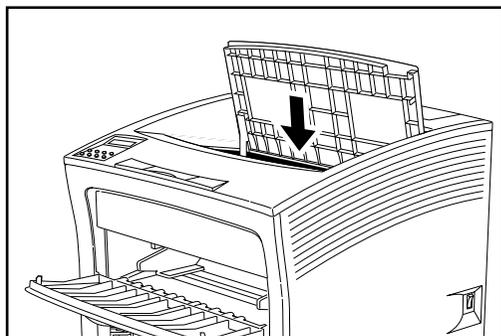
⚠️ 注意

・プリンター内部のほかの部品には、手を触れないでください。

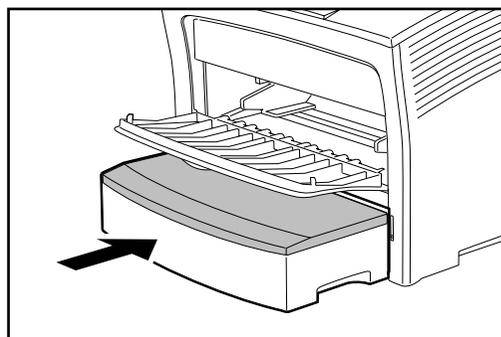
- 16** EPカートリッジを奥まで押し込みます。



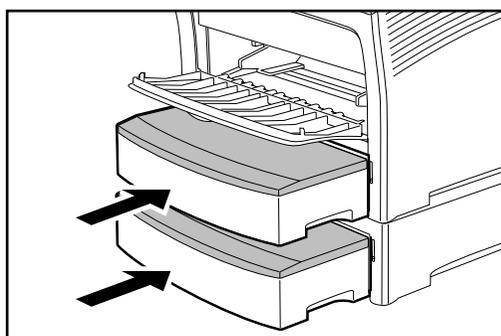
確実にセットされていることを確認してください。



- 17** 給紙カセットをプリンターの奥に当たるまで押し込みます。奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。



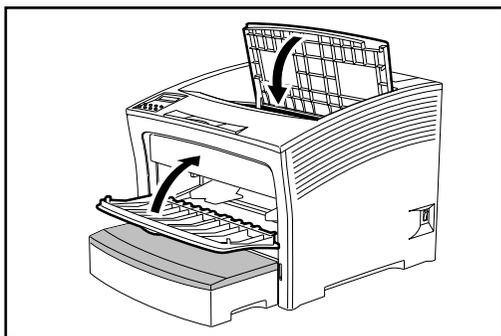
別売品の給紙ユニットを使用している場合には、それぞれの給紙カセットを給紙ユニットにセットします。



- 18** 上部カバーを元に戻します。上部カバーの中央を上から押して、確実にロックします。



上部カバーが確実にロックされていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。上部カバーが閉じないときは、EPカートリッジを一度完全に取り出し、再度奥まで挿入しなおしてから、もう一度閉めなおしてください。



19 操作パネルの表示部に「インサツチュウ」と表示されることを確認します。

インサツチュウ

C 1

A 4

タテ



- ・ 前面給紙トレイや用紙カセット内での用紙詰まりの場合でも、上部カバーを一度開けないと、用紙詰まりは解除されず、エラーメッセージが消えません。
- ・ 次に印刷された用紙が汚れる場合がありますが、数枚印刷すると汚れはつかなくなります。
- ・ 印刷可能状態にならない場合は、詰まった紙が完全に取り除かれていません。再度、手順 1 からチェックしてください。

「カミヅマリ 2000ユニット...」と表示された場合

「カミヅマリ 2000ユニット ヨウシヲ トリダシテクダサイ」と表示された場合には、増設2,000枚給紙ユニット（別売）の給紙部で用紙が詰まっています。次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

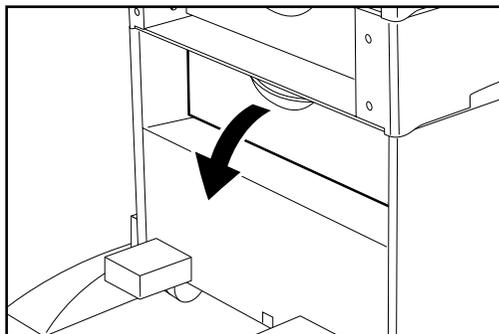
カミヅマリ 2000ユニット
ヨウシヲ トリダシテクダサイ

⚠ 注意

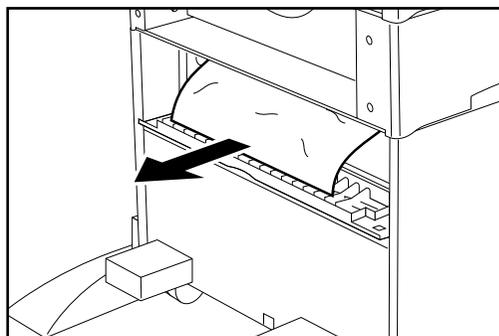
- ・紙詰まりの処理をするときは、定着器内のローラーが高温になっているため、やけどのおそれがあります。定着器内のローラーに触れないよう十分注意して処理してください。
- ・印刷直後は定着器が非常に高温になっていますので手を触れないでください。やけどの原因となります。

操作の手順

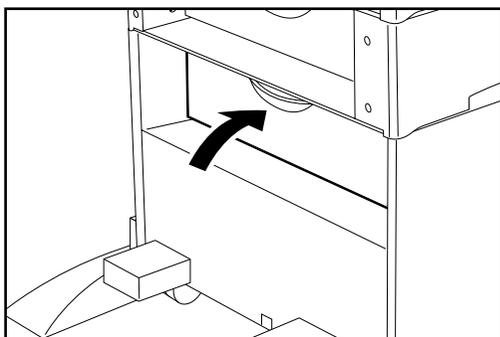
- 1 2000枚給紙ユニット背面のカバーを開きます。



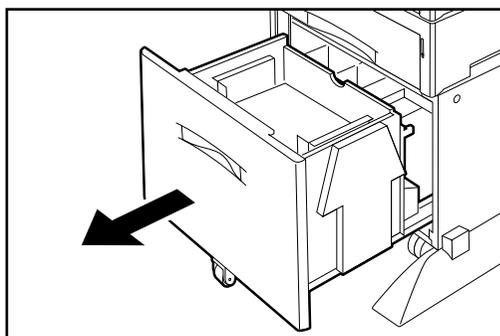
- 2 詰まった用紙があれば取り除きます。



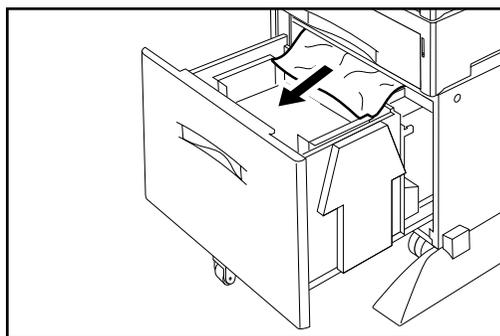
3 カバーを閉じます。



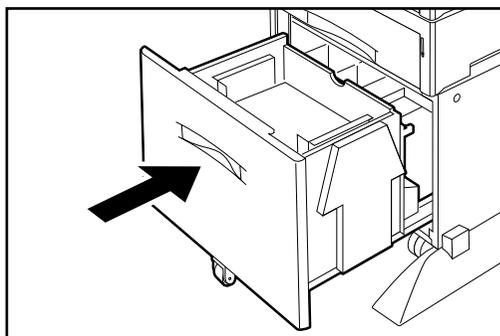
4 2000枚給紙ユニットの用紙カセット上部のくぼみに手を入れ、手前に引いて用紙カセットを開きます。



5 詰まった用紙があれば取り除きます。

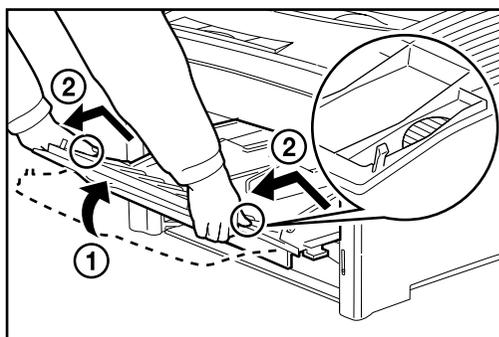


6 用紙カセットを元に戻します。



ここまでの手順で詰まった用紙を取り除くことができたときは、手順15に進み紙詰まりの処理を終了してください。まだ機械内部に用紙が残っている場合や上面カバーを閉じてエラーメッセージが消えない場合は、次の手順に進んでください。

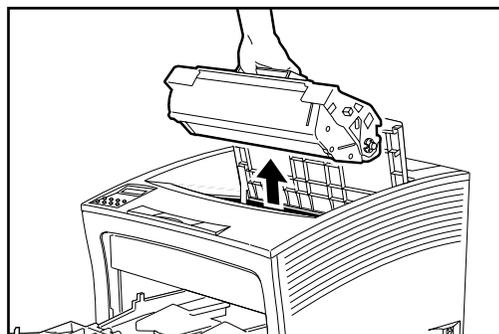
- 7 前面給紙トレイの左右を持って少し傾けます。さらに、軽く持ち上げ手前に引き出します。



- 8 EPカートリッジの取っ手を持ち、真上に引き上げます。

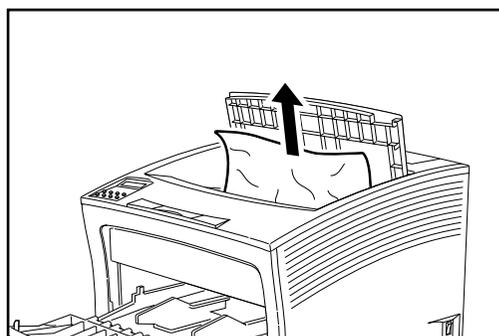


- ・取り外したEPカートリッジは、直射日光などの強い光に当てないように、梱包されていた袋に入れるか、厚い布などで包んでください。
- ・EPカートリッジを取り外すときは途中で止めずに、完全に引き抜いてください。EPカートリッジを途中まで引き出し、再びプリンター内部に挿入すると、ドラム・シャッターが開かず故障の原因となることがあります。

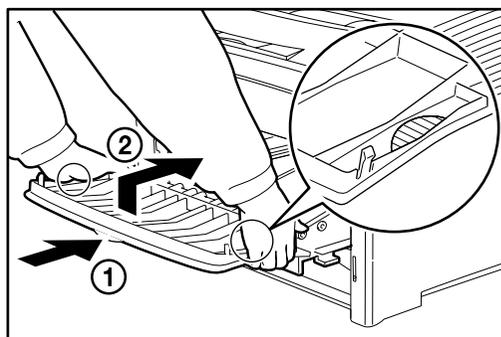


トナーで床を汚さないよう、取り出したEPカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などをしいてください。

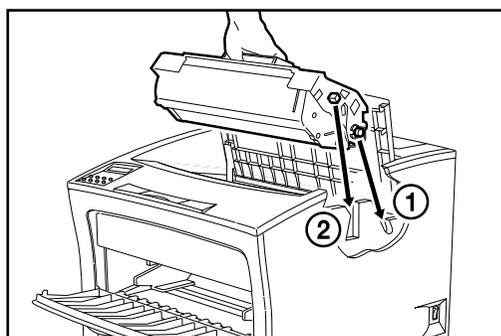
- 9 EPカートリッジを抜き出した奥を点検し、詰まった用紙があった場合には取り除きます。



- 10** 前面給紙トレイの左右を持って、突き当たるまで押し込みます。軽く持ち上げさらに押し込み、元の位置に戻します。



- 11** EPカートリッジの取っ手を持ち、①EPカートリッジの両側にある突起をプリンター内部の溝に合わせます。次に②斜めにプリンター内部に挿入します。



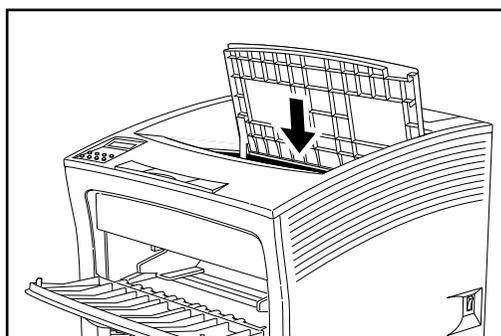
⚠注意

・プリンター内部のほかの部品には、手を触れないでください。

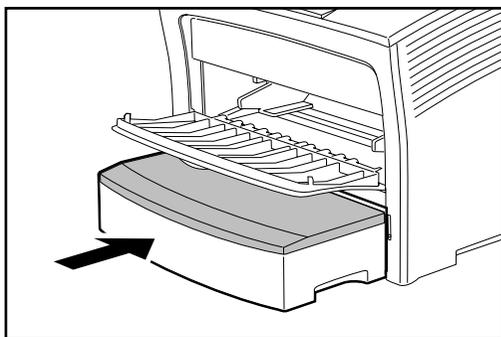
- 12** EPカートリッジを奥まで押し込みます。



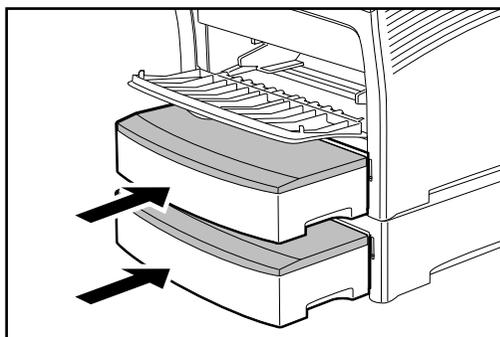
確実にセットされていることを確認してください。



- 13** 給紙カセットをプリンターの奥に当たるまで押し込みます。奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。



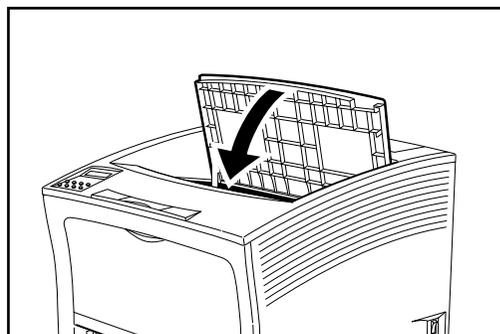
別売品の給紙ユニットを使用している場合には、それぞれの給紙カセットを給紙ユニットにセットします。



14 上部カバーを元に戻します。 上部カバーの中央を上から押して確実にロックします。



上部カバーが確実にロックされていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。上部カバーが閉じないときは、EPカートリッジを一度完全に取り出し、再度奥まで挿入しなおしてから、もう一度閉めなおしてください。



15 操作パネルの表示部に「インサツチュウ」と表示されることを確認します。



- ・ 前面給紙トレイや用紙カセット内での用紙詰まりの場合でも、上部カバーを一度開けないと、用紙詰まりは解除されず、エラーメッセージが消えません。
- ・ 次に印刷された用紙が汚れる場合がありますが、数枚印刷すると汚れはつかなくなります。
- ・ 印刷可能状態にならない場合は、詰まった紙が完全に取り除かれていません。再度、手順1からチェックしてください。

インサツチュウ

A 4
C 1 タテ

EPカートリッジを交換する

点検ランプが点灯し、「EPカートリッジコウカン」と表示されたら、次の手順で新しいEPカートリッジ（別売）に交換してください。

EPカートリッジ コウカン A4
C1 タテ

EPカートリッジの購入についての説明が「付録B サプライ品・オプション製品の紹介」(P.212)にあります。参照してください。

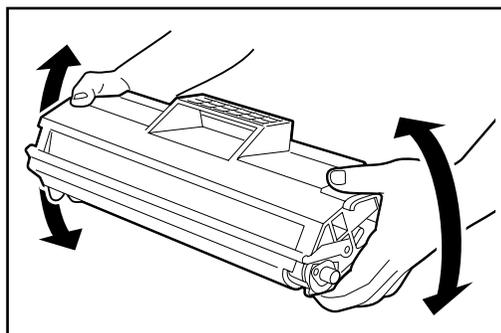
同梱されたEPカートリッジは10,000ページの印刷が可能です。
(印刷濃度設定が初期(工場出荷値)のままお使いで、印刷部分がA4用紙全体の5%の印刷の場合)

はじめてEPカートリッジ交換のメッセージが表示された場合

はじめてメッセージが表示された状態ならば、EPカートリッジを交換しなくても、しばらく印刷できます。

なお、この場合、トナー残量が少ないため、印刷途中から印刷が薄くなっていくことがあるのでご注意ください。

右の図のように、EPカートリッジを取り出して、ゆっくりと上下させながら左右に5～6回振り、再度セットして、残ったトナーを使用してください。



この操作を行っても、まだ印刷が薄くなる場合はEPカートリッジを交換してください。

点検ランプが点灯し「ドラムジュミヨウ」と表示された場合

EPカートリッジ内の感光体（ドラム）が機械的な寿命に達しましたので印刷枚数、トナー残量に関わらず、EPカートリッジを交換してください。

ドラムジュミヨウ A4
C1 タテ



このメッセージが表示された後でも印刷はできますが、印字品質がいちじるしく低下する場合があります。
また、故障の原因となりますのでお早めにEPカートリッジを交換してください。

注意

- ・ EPカートリッジは、プリンターにセットするまで、袋から取り出さないでください。
- ・ 袋から取り出したら、EPカートリッジの取り付け作業は、できるだけ早く（5分以内）プリンターにセットしてください。
- ・ 直射日光などの強い光（1500ルクス以上）には絶対に当てないでください。
- ・ ドラム・シャッターにより、EPカートリッジ内の感光体（ドラム）が保護されていますが、感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- ・ EPカートリッジは立てたり、裏返しにして置かないでください。
- ・ カートリッジは、両脇または取っ手を持つようにし、それ以外のところは触れないようにしてください。
- ・ EPカートリッジは、純正品をご使用ください。純正品以外では、良好な印刷が行えないばかりでなく、プリンターの故障の原因となります。純正品以外のカートリッジでの障害に関しましては、保証の対象外となりますので使用しないでください。
- ・ トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。

危険

- ・ EPカートリッジは、絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残留しているトナーの粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。廃棄する場合は必ず不燃物として処理してください。
- ・ EPカートリッジの廃棄に関しては、地方条例に従って廃棄してください。
- ・ 本機を廃棄する場合は、必ずEPカートリッジを取り外して、本体とは別に処理してください。

MEMO

弊社では、使用済みEPカートリッジの回収を促進しております。EPカートリッジに同梱の「使用済みトナーカートリッジの送付のお願い」に従って送付してください。

EPカートリッジを取り付ける

操作の手順

- 1 上部カバー前方のくぼみに手を入れ、カバーを開きます。



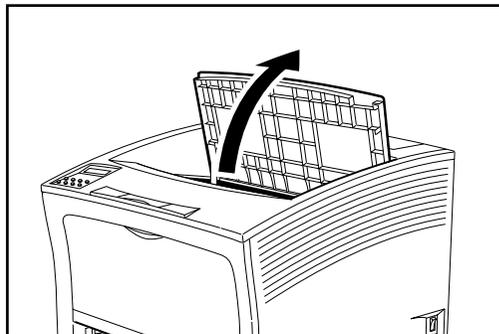
排紙トレイに印刷済みの用紙がある場合は、上部カバーを開く前に排紙トレイの用紙を取り除いてください。排紙トレイに用紙を載せたまま上部カバーを開くと、紙詰まりなどの原因となることがあります。

⚠注意

上部カバーを開けるときは、確実に止まるまで開けてください。

また、閉めるときはゆっくりと閉めてください。

プリンター内部の他の部品には手を触れないでください。

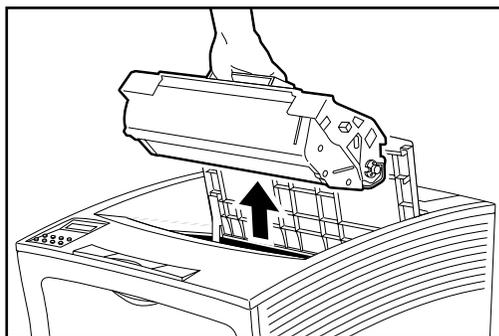


- 2 EPカートリッジを取りはずします。

EPカートリッジを図のように持ち、ゆっくり引き出します。



EPカートリッジを取り外すときは途中で止めずに、完全に引き抜いてください。EPカートリッジを途中まで引き出し、再びプリンター内部に挿入すると、ドラム・シャッターが開かず故障の原因となることがあります。



MEMO

- ・トナーで床を汚さないよう、取り出したEPカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などをしいてください。
- ・取りはずしたEPカートリッジの廃棄に関しては、地方条例に従って廃棄してください。特に指定のない場合は包装箱やビニール袋などに入れ、不燃物として廃棄してください。

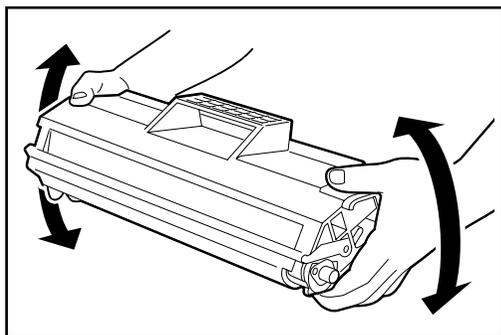
⚠危険

EPカートリッジは、絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残留しているトナーの粉じん爆発によって、やけどのおそれがあります。

3 新しいEPカートリッジを梱包から取り出し、図のように7～8回振ります。



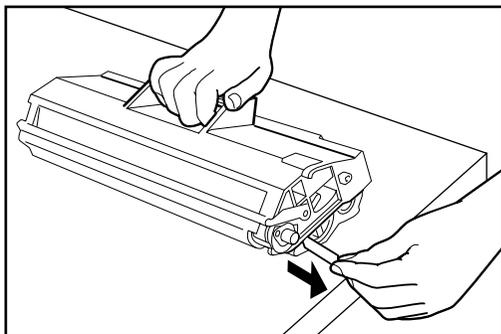
トナーの状態が均一でないと、印刷品質が低下することがあります。また、よく振らないと起動時に異常音やEPカートリッジ内部の破損が発生することがあります。



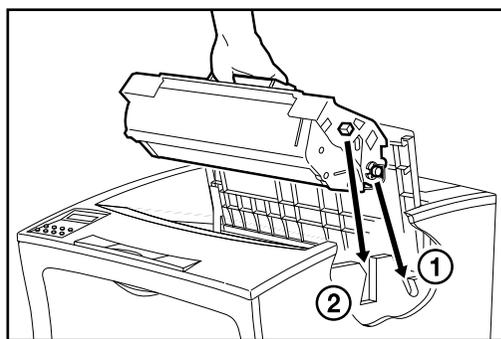
4 EPカートリッジを平らな場所に置き、片手で押さえながらトナーシールを引き抜きます。



- ・トナーシールを引き抜くときは、平行にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと途中でテープが切れてしまうことがあります。
- ・トナーシールを引き抜いたあとは、EPカートリッジを振ったり、衝撃を与えたりしないでください。



- 5 EPカートリッジの取っ手を持ち、①EPカートリッジの両側にある突起をプリンター内部の溝に合わせます。次に②斜めにプリンター内部に挿入します。



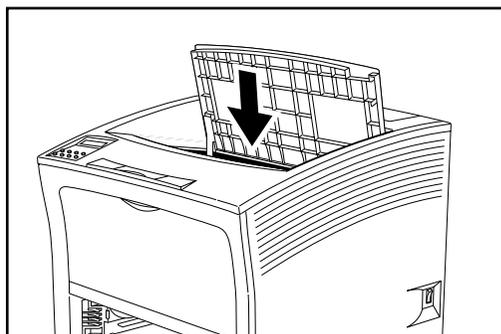
⚠注意

プリンター内部の他の部品には、手を触れないでください。

- 6 EPカートリッジを奥まで押し込みます。



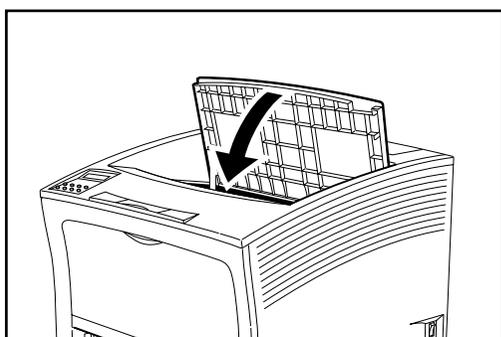
確実にセットされていることを確認してください。



- 7 上部カバーを閉じます。
上部カバーの中央を上から押して、確実にロックします。



上部カバーが確実にロックされていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。



- 8 操作パネルの表示部に「インサツ カノウ」と表示されることを確認します。

インサツ カノウ

A 4
C 1 タテ